

第5回 在宅医療カフェ:余呉町のまとめ

《表札の洗い出し》

1G	2G	3G	4G
福祉	医療	地域の見守りが大切	助け合い精神
システム(支援・付き合い)	雪	高齢者独居の増加	医療とケアの不足
地域医療	高齢者世帯	支援者としての心がけ	医師が少ない
交通事情・環境	サロン	若い人が少ない	交通の便が悪い
自然環境	お店が少ない	雪が多い	獣害
住民性	交通の便が悪い	医療体制の問題	独居が多いけれど・・・
高齢化	検死が多くなった	頑張っている事	寄合の場が少ない
エンディングノート	隣同士でも依頼しにくい	交通機関・買い物	雪のイメージ
	便利なシステムも使い方が分からない		空き家・店が少ない
	介護サービスに制限がある		町おこしと言う言葉に踊らされている
			無駄な事をやり過ぎ
			茶碗祭りなど継承文化が廃れる
《スローガン》			
地域性・住民性を活かした地域づくり	終活と覚悟を話し合い元気になろう	地域で頑張っている人を地域で支える	不便の無い田舎を目指そう!

《表札の区別化》

環境面: 雪のイメージ・交通の不便さ・空き家が多い・自然が豊か・買い物が不便・獣害

医療: 常勤医がない・看取りの場がない・検死が多くなった

人間関係: 近所との付き合い方・地域の見守り支援・人口減の為の中堅層の負担(役の重複)・ネットワーク・仕組み

少子高齢化: 独居・高齢世帯・若い人が少ない→流出

地域性(住民性): 人柄が良い・助け合い精神(ちょこっとサービス)・最期まで余呉で暮らしたい

継承文化: 茶碗祭りの維持が困難

介護: 介護サービスに制限・ケアの不足

～あとがき～

医師不足や豪雪、超高齢化など負のイメージが強い前情報のカフェでしたが、ここで暮らす方の思いは、息子、娘が暮らす町に呼んでくれても、自分はこの余呉で、馴染みの方とお付き合いしながら最期まで暮らしたい。また、南方から余呉へ嫁いで来られた方は「ここは良い所」と話されていました。住み慣れた場所で長く暮らし続ける為には、常勤医師の確保や住環境の整備、仕組み作り、個人負担の軽減など色々とすべきことはあると思います。ですが、負のイメージを払拭するような前向きなスローガや「まだまだ、余呉の未来は明るい」とアンケートに寄せられている事からも元気な余呉町で良かったと思いました。

余呉で生活されている人達が「幸せ」と思えるような地域に発展しますようにお祈り申し上げます。

長浜米原地域医療支援センター 今井享子